



向井潤吉《六月の田園》1971(昭和46)年 岩手県岩手郡滝沢村

「民家はその生まれた地を動かずに、
生活や自然環境と密着してこそ美しい」

2012年4月3日(火)～7月29日(日)

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL:03-5450-9581
www.mukaijunkichi-annex.jp/

開館時間=午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日=毎週月曜日(ただし、祝・休日の場合は開館、翌日休館)

観覧料=一般200(160)円、大高生150(120)円、中小生100(80)円、65歳以上及び障害者の方100(80)円

* ()内は20名以上の団体料金。小・中学生は土、日、祝・休日及び夏休み期間は無料。

* 障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。

交通案内=東急田園都市線「駒沢大学」駅 西口徒歩10分/東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分

東急バス(渋05)渋谷～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分/東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分/

東急バス(渋11)渋谷～田園調布「駒沢大学駅前」徒歩10分/東急バス(渋12)渋谷～二子玉川「駒沢大学駅前」徒歩10分

向
井
潤
吉
陸奥への旅

向井潤吉

陸奥への旅

3月11日の震災は東北地方に甚大な被害をもたらし、日本の美しい風景が一瞬のうちに消え去ってしまいました。陸奥と呼ばれる、福島・宮城・岩手・青森は、向井が好んで歩き描いた場所のひとつです。とりわけ岩手県には頻繁に訪れ、アトリエ館にある土蔵は一関の旅館から移築されるなどゆかりの深い場所です。本展では、向井が歩き描いた、陸奥の風景を集めて展観します。



《層雲》1964(昭和39)年 青森県北津軽郡市浦村脇元



《雨後檐下宿》1970(昭和45)年 山形県上山市檐下



《奥会津十月》1974(昭和49)年 福島県南会津郡只見町



《七ヶ宿街道関》1961(昭和36)年頃 宮城県刈田郡七ヶ宿町



《道ばたの旅屋》1965(昭和40)年頃 福島県郡山市湖南町三代



移築した土蔵にて 1975(昭和50)年頃

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL:03-5450-9581

www.mukaijunkichi-annex.jp/

交通=東急田園都市線「駒沢大学」駅 西口徒歩10分／東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分／東急バス(渋05)渋谷～弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分／東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅～等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分／東急バス(渋11)渋谷～田園調布「駒沢大学駅前」徒歩10分／東急バス(渋12)渋谷～二子玉川「駒沢大学駅前」徒歩10分



©宮本和義

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL:03-3415-6011(代)

ハローダイヤル 03-5777-8600

www.setagayaartmuseum.or.jp/

*詳細はホームページなどでご確認ください。

予告

リオープン記念展

福原コレクション

駒井哲郎1920-1976

4月28日(土)～7月1日(日)

ミュージアム コレクション I

世田谷アーティスト・コロニー

「白と黒の会」の仲間たち

3月31日(土)～6月17日(日)



清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL:03-3416-1202 www.kiyokawataiji-annex.jp/

清川泰次のアトリエ I

4月3日(火)～7月29日(日)



©宮本和義

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL:03-5483-3836 www.miyamotosaburo-annex.jp/

同時代の二人——向井潤吉と宮本三郎

4月3日(火)～7月29日(日)



©宮本和義